

(平成 30 年 4 月試験研究業務月報)

試験研究課題：天然アサリ資源復活に向けた未利用資源未利用漁場の有効活用技術の開発

研 究

囲い網によるアサリの保護試験を開始しました

当センターでは、宮津市の阿蘇海に生息するアサリ稚貝を、養殖や放流用の種苗として有効活用するための技術開発を行っています。

阿蘇海では、毎年春季にアサリ稚貝が大量に発生しますが、クロダイにより多くの稚貝が捕食されていることが分かっています。昨年度に、クロダイの食害対策として、阿蘇海の海底に網を被覆してアサリ稚貝を保護する試験を行ったところ、被覆網内では多くのアサリ稚貝が食害を受けずに生存することが明らかになりました。

そこで今年度は、被覆網よりも保護面積の広い「囲い網」による試験を行っています。4月の調査では、「囲い網」を設置した海域に殻長1 mm程度のアサリ稚貝の分布が確認されました。クロダイが餌として好むアサリの大きさは殻長10 mm前後であることから、今後は、「囲い網」の内外でアサリの生息密度や成長を追跡し、「囲い網」の保護効果を明らかにしていきます。



クロダイの胃の中から発見された
噛み砕かれたアサリの貝殻



阿蘇海に設置した「囲い網」